



積算ポケット手帳

防犯・防災 ハンドブック

Security Handbook

建築資料研究社





イラスト:岩井桃子

Part 1: 防犯のグッドデザイン

性能がまず第一義的に求められる防犯製品。
そのためかスタイリングはまだ発展途上にあるものが多い。
しかし防犯製品も日用品のひとつ。
イスを選ぶときのように、
キッチンを選ぶときのように、
お気に入りのデザインを探してみよう。
プロダクトデザイナー、酒井俊彦氏に感想を伺った。

コメント: 酒井俊彦

(さかい・としひこ)

有限会社サカイデザインアソシエイツ代表

1964年高知県生まれ。

1989～1991年コーゾーデザインスタジオ入社。

1992年サカイデザインアソシエイツ設立。

「Yoko」などのイスをはじめ、

家具、家電などのプロダクトデザインやインテリアデザインを手がける。



Security Fitting 7331 30 Outer Backplate

*参考商品



デザインはいたってシンプル。FSBのセキュリティ対策が強化されたレバーハンドルは他にもあるが、どれもどうもピンとこない。『7331 30』はアクが無いので多くのドアとあわせやすいのではないだろうか。セキュリティに特化した製品は、通常の物に比べると選択肢が少ない。この状況は今後もそれほど変わらないと思う。イメージにぴったりの製品があるのであれば問題ないが、そうでなければ最もシンプルな物を選びその他の部分

で自分の好きなデザインを主張していくべきだろう。住宅の全てのパーツがそれぞれのデザインを主張しては困ったことになるのは言うまでもない。選択肢が少なく妥協が必要な状況ではなおさらだ。このレバーハンドルはそういう状況下で一つの模範的な回答として存在している。控えめで凜としたスタイリング。派手さはないが長く付き合うにはうってつけのデザインのように感じられる。

メーカー:FSB
問い合わせ先:ヤマギワリビナ本館

shield



知らなかった。ピニンファリーナ(フェラーリ社のカー・デザインで有名)が玄関ドアのデザインをしているなんて。dream、wave、shieldの3種類。そのうち2つは何ともコメントのしようがないので割愛。shieldは実に多弁なドアだ。たとえば「厚いよ、破るの無理」「知らない人は絶対中に入れないよ」「ドアの中と外は別世界」「どんなにうるさくしても中には聞こえない」という表現が伝わってくる。ドア本体左右のフレーム部が厚さ、強靱さを表わし、中央のパネル部がクラス感、品質の高さを表現している。ハンドル、ボルトなどのディテールもこれに追随。一枚のドアとしては奇跡的なほど、その外側と内側の世界の差を表現している。購入を考えるなら自宅のグレードを十分に考慮しよう。選択を間違えるとまさに「4畳半のアパートに住んでF40に乗っている」になりかねない。防犯、デザインどちらについても一点豪華主義は致命的だから。



オプションパネル



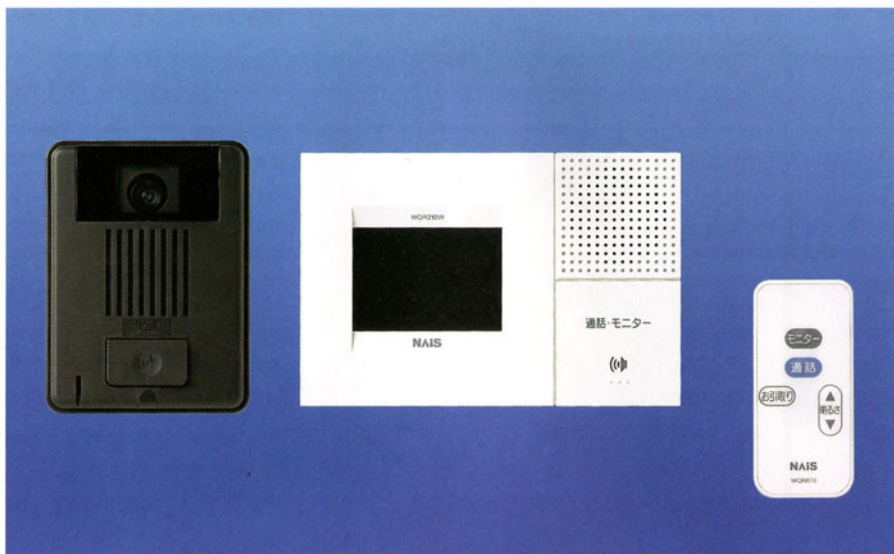
dream



wave

メーカー:アイエム

カラー玄関番Square1型 WQR2109W



残念ながらすごくカッコいいインターホンというのは数少ない。モニターなしで声しか聞けない物ならJACOB JENSENのDoor Bellは秀逸なデザインなのだが、これは防犯器具ではなく、「お客様の訪問を知らせる道具」。『松下電工のカラー玄関番Square 1型』は国産家電には珍しくスクエアでシンプルなデザイン。室内のインテリアは基本的に水平垂直直角で構成されているのだから家電もこれにフィットするようにデザインされるべき。こういう基本的な考え方を守っていると好感が持てる。しかも小さい。搭載されている防犯機能がニーズに合うようであ

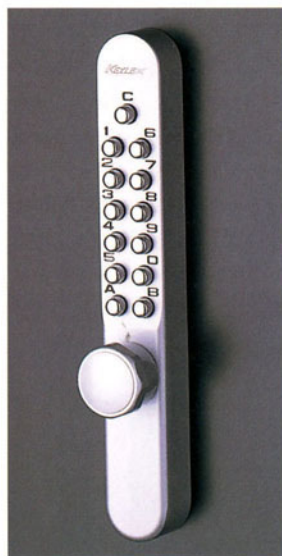
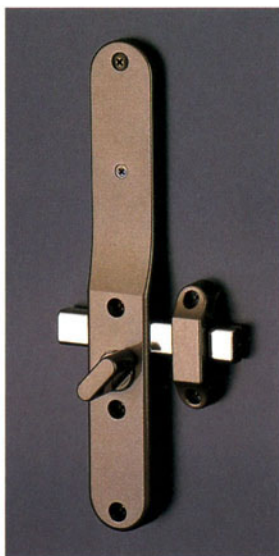
れば迷わず買うべきインターホン。惜しいのは玄関子機のデザインとグラフィック。この2つでJACOB JENSENに水をあけられている。

WEBにはあまり多くの写真がアップされておらず判断しづらいかもしれない。ただ、デザインのよさは群を抜いているので、できれば実物を手にとって実感してもらえればと思う。



Door Bell, JACOB JENSEN
URL:<http://www.jacob-jensen.com>

キーレックス800



なぜかちょっと嬉しい感じがするキーレス錠。「大人感」みたいなモノが漂ってくる。そんな中で『キーレックス800』は造形的にも綺麗にまとまっている。このタイプの鍵はテンキーを配置する関係上無骨になりがち。頭が丸いテンキーは押す時に指が横滑りする感じが不愉快なので改善の余地はあるものの、ここまで細身で作ることに徹したコンセプトは見事。個人宅や小規模な事務所であればこのくらいスマートなほうが玄関周りの雰囲気ともマッチするのではないだろうか？全体の雰囲気というのは結構大切なこと。玄関を覗いた時、鍵3つ、キーレス錠の無骨なのが一つという風にセキュリティが異様に強調されていると、泥棒はともかく近所の人が引いてしまう。防犯上のハイデザインというのはシチュエーションに合わせていかに効率的に機能するかということだと思う。物理的な防犯機能だけでなく、円滑な近所づきあいにも気が配られるデザインが必要なのはいうまでもない。

上：面付本錠鍵付
下：面付引戸錠錠
上下とも左が室外、右が室内側

メーカー：長沢製作所

Dimple Cylinder 917



ディンプルシリンダーはピッキングが困難な新しい世代の玄関錠。こういったものは普通アメリカか、ヨーロッパの物がカッコいいに決まっている。ビバ！西洋文明。となるところなのだが、どうも様子が違う。欧米の製品には強心が揺さぶられない。強さや信頼性をキーのデザインに反映させるという方法論をとっていないからだ。機能が信頼できればOKという考え方なのだろう。しかしこのメーカーはもともと美しい金具を作ることのできるだけに、ディンプルシリンダーも気品さえ漂う仕上がりになっている。917はシステムの特徴をキーのグリップ部に開けた3つの穴でさりげなく伝え、全体のフォルムも洗練されている。シリンダーのデザインも、「緻密さ」を表現することにより、その信頼性を表現している。外出先でふと手にした自宅のキーをながめ安心感に浸れる、そんなシーンが思い浮かぶような製品だ。

メーカー：ウエスト

シャッタードア FD-61

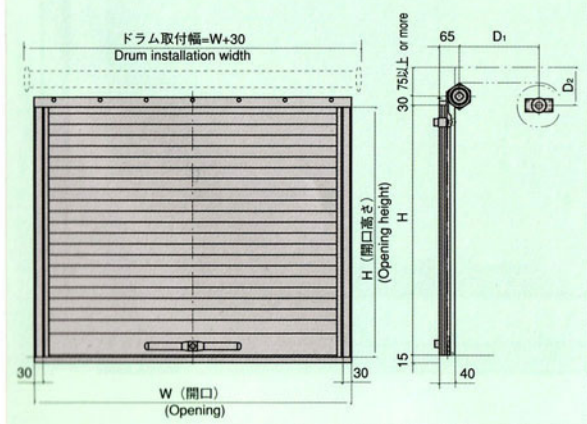


シャッタードア FD-61



住宅用のシャッターは妙に中途半端なイメージがある。もちろん、易々と他者の侵入を許すわけでは無いのだが、つつい商業施設向けのゴツイものと比べてしまう。住宅用のシャッターを調理器具に例えれば「プロ用」と「ご家庭用」のうち「ご家庭用」の感じ。そんな訳で、機能はもちろんプロっぽさを大事にしたいのなら、この製品を試してみるのも手だ。タキゲンの特装車両用シャッタードア『FD-61』は消防車の荷台などに取り付けることを本来の目的としている製品。そんな専用部品も住宅に転用できる可能性がある。表面はフルフラットのシルバーのアルミニウム。取手は最下部に真一文字。思い切りのよさをそのまま形にしたような製品。こんなシャッターが下りていれば踵を返してきっぱりと帰るのが泥棒の正しい姿だろう。シンプルで美しく、侵入者に対してきっぱりとした意思表示が出来る稀有なプロダクト。住宅用ではないのももちろん手間はかかるがデザインの面から言ってお勧めの一品だ。

FD-61



メーカー:タキゲン